

# 幼稚園の自然とのふれあい活動 から捉えた鶴見緑地の評価

緑地計画学 岩崎 弘明

# 対象地の設定・研究背景・目的

## 調査対象：鶴見緑地

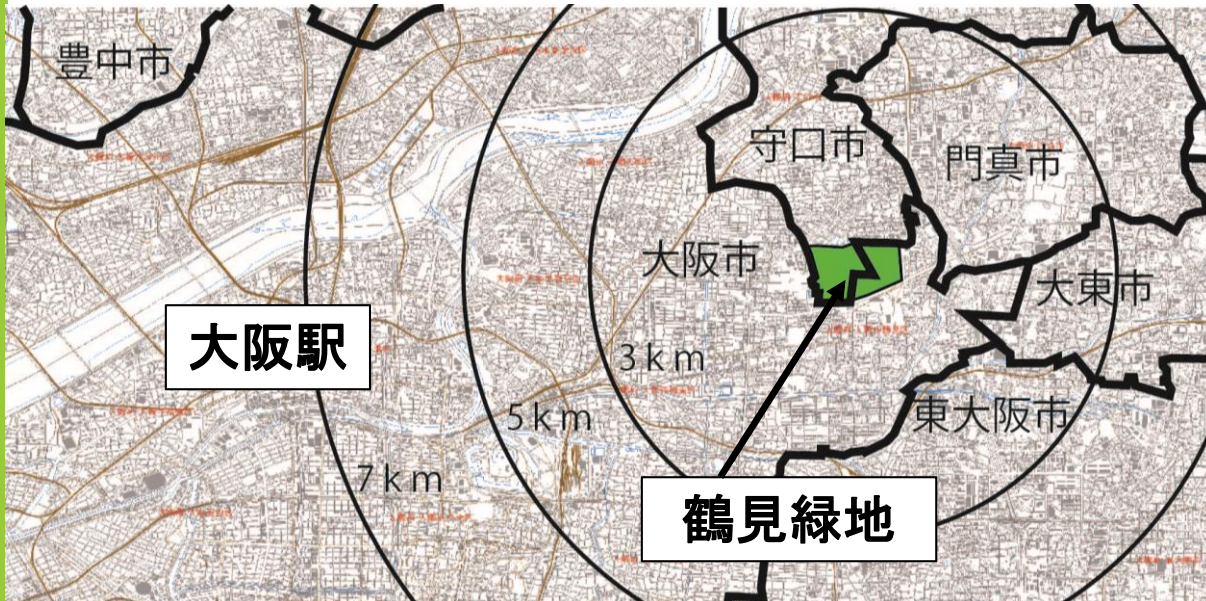
位置：大阪市と守口市の市境

面積：約120ha

歴史：1990年に国際花と緑の博覧会（大阪花博）が開催される

## 研究背景・目的

- 大阪花博開催後、自然とのふれあいの場を重視した整備が進められる
- 幼児期の成長過程において重要と言われている自然とのふれあい体験の機会を求め、多くの幼稚園が訪れている



幼稚園の自然とのふれあい活動の実態を通じて、鶴見緑地を構成する各ゾーンを評価し、今後の整備のあり方を探った

# 研究方法



## 《環境特性》

- 24ゾーンに分割
- 土地利用

調査 : 地形図 (1/500) と  
現地調査

調査期間 : 2014年10月～12月

調査項目 : 修景緑地、水景、  
主園路、園路、  
広場、占有施設

- 緑被状況

調査 : 航空写真 (2007  
年 : 1/20,000) と  
現地調査

調査期間 : 2014年10月～12月

調査項目 : 常緑、落葉、混交、  
低木、芝地、花壇

代表する樹種

# 研究方法

## 《アンケート調査》

- **対 象**：鶴見緑地から約5km圏内に位置する幼稚園127園
- **方 法**：郵送留置方式
- **期 間**：2014年11月～12月
- **有効回答率**：41.7%



[http://www.padoma.ne.jp/modules/padomablog/index.php?content\\_id=756](http://www.padoma.ne.jp/modules/padomablog/index.php?content_id=756)

## • 質問項目

### 緑地全体について

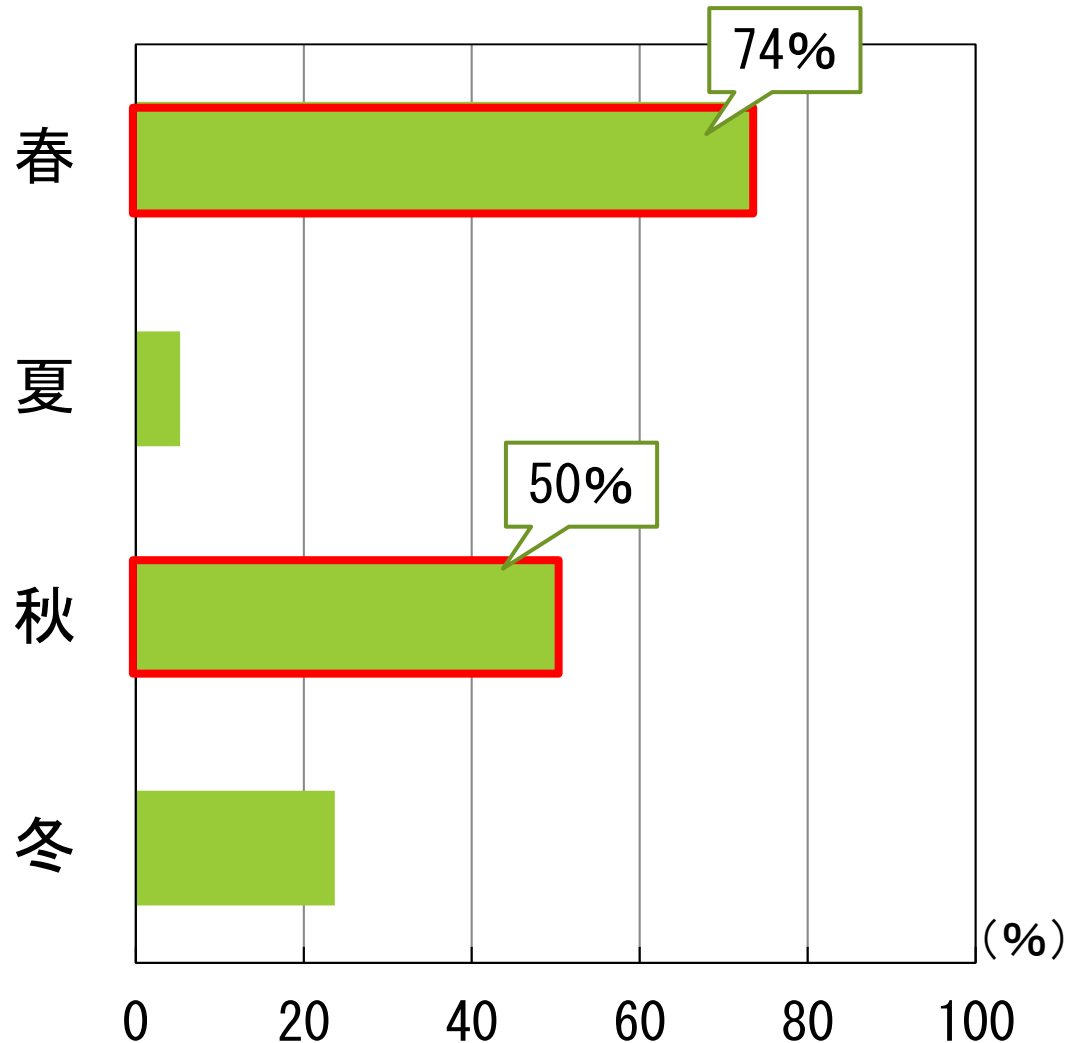
- 利用頻度
- 利用目的
- 自然とのふれあい活動で利用するゾーン

### 自然とのふれあいゾーンについて

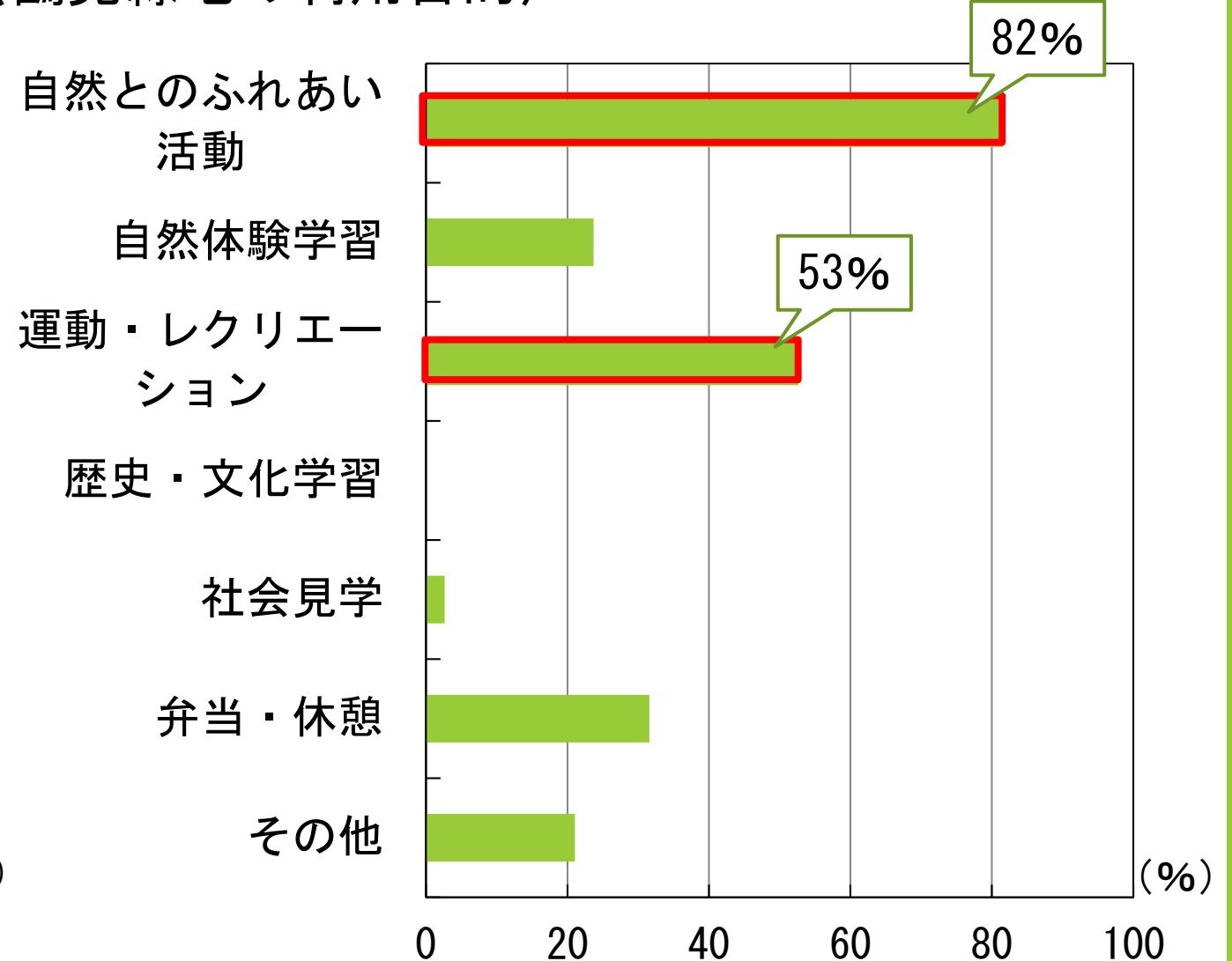
- 利用人数
- 利用時間
- 利用内容
- 満足度
- 課題

# 緑地全体の利用特性

## 〈鶴見緑地の利用頻度〉

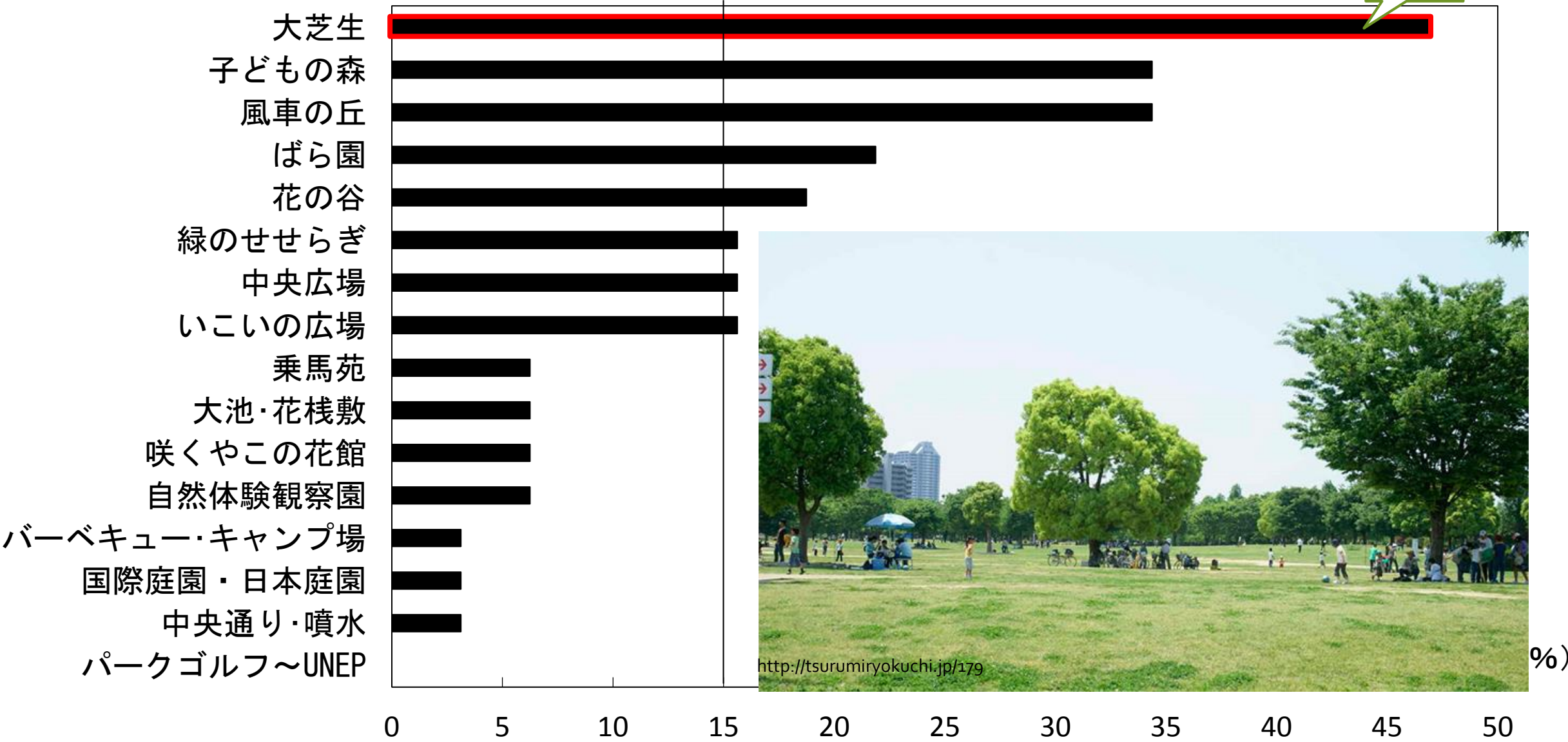


## 〈鶴見緑地の利用目的〉



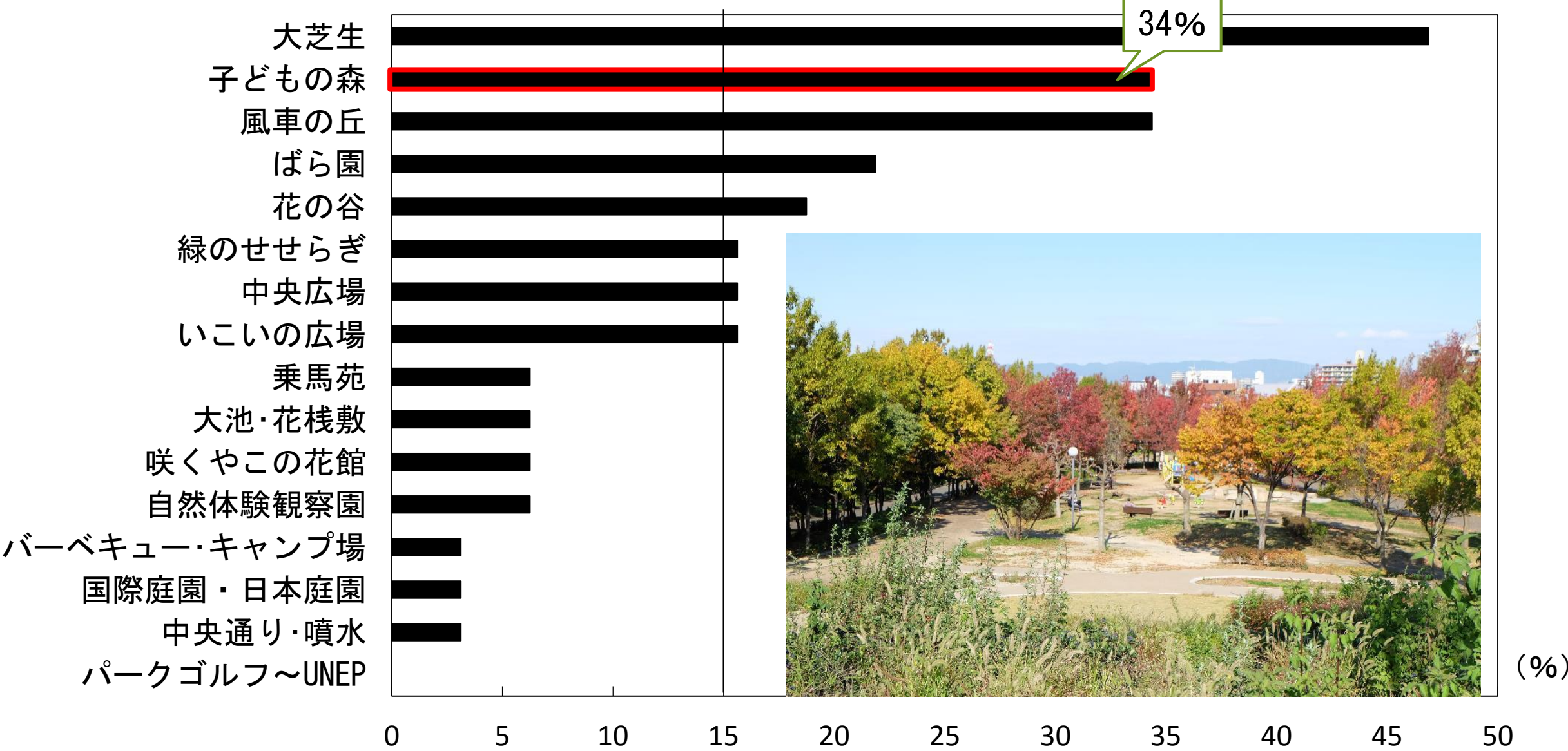
# 緑地全体の利用特性

〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



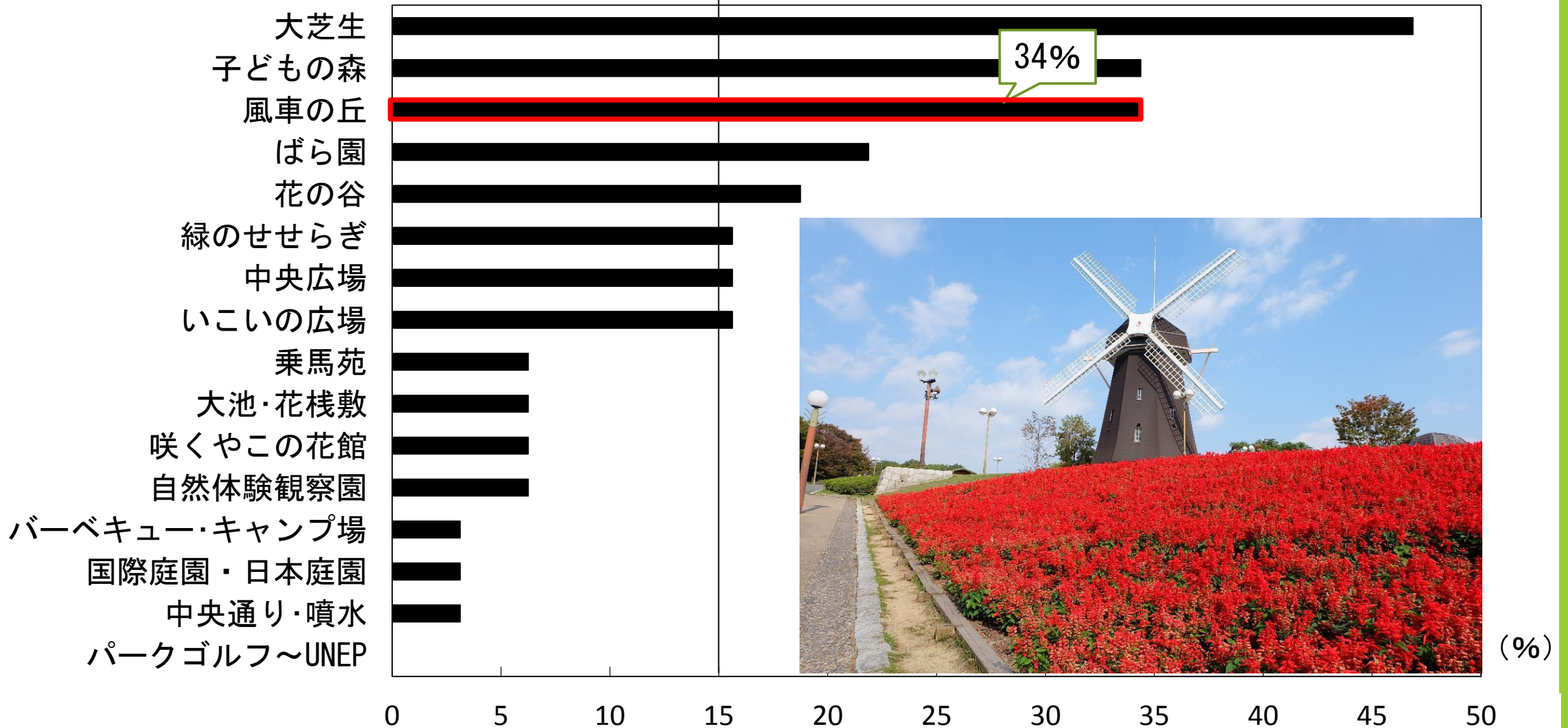
# 緑地全体の利用特性

〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



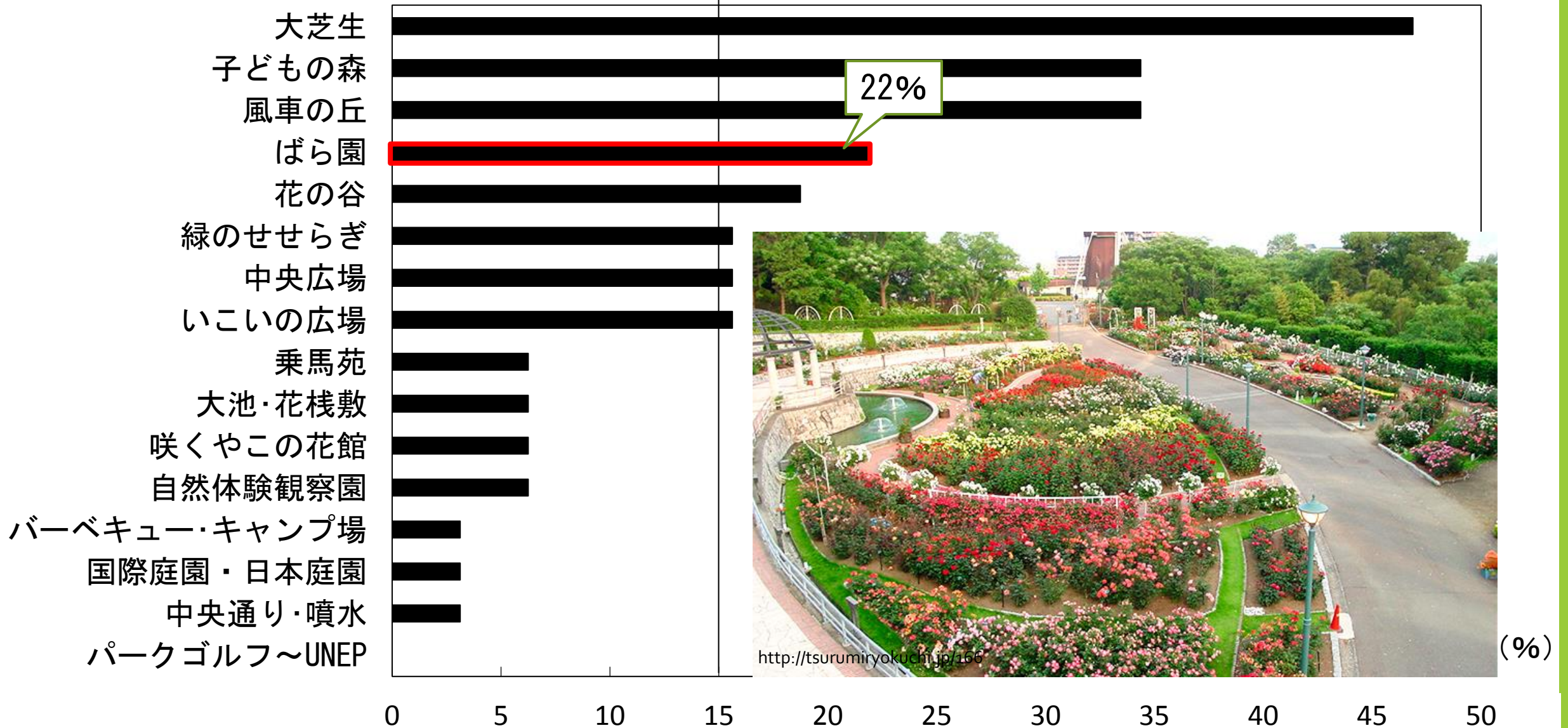
# 緑地全体の利用特性

## 〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



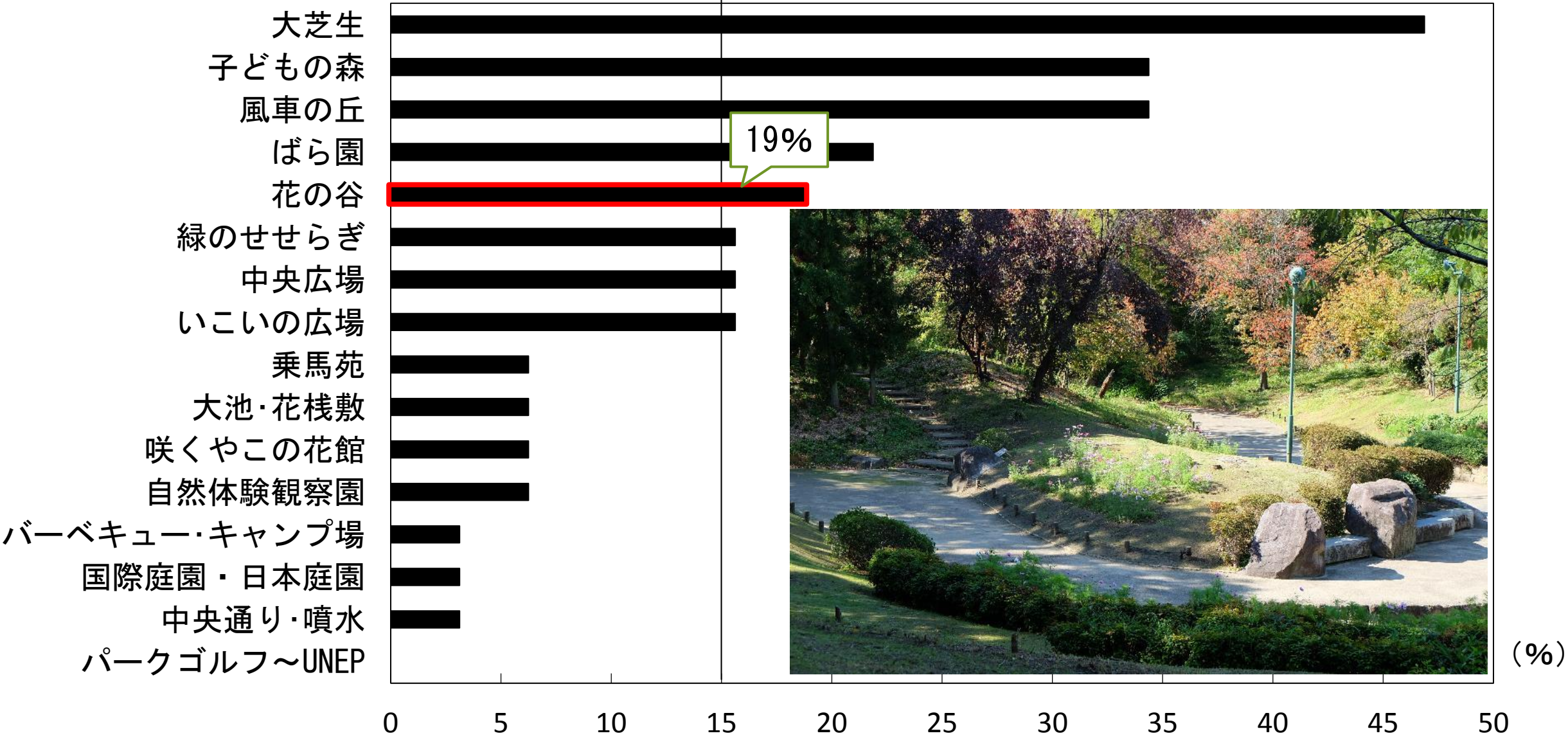
# 緑地全体の利用特性

## 〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



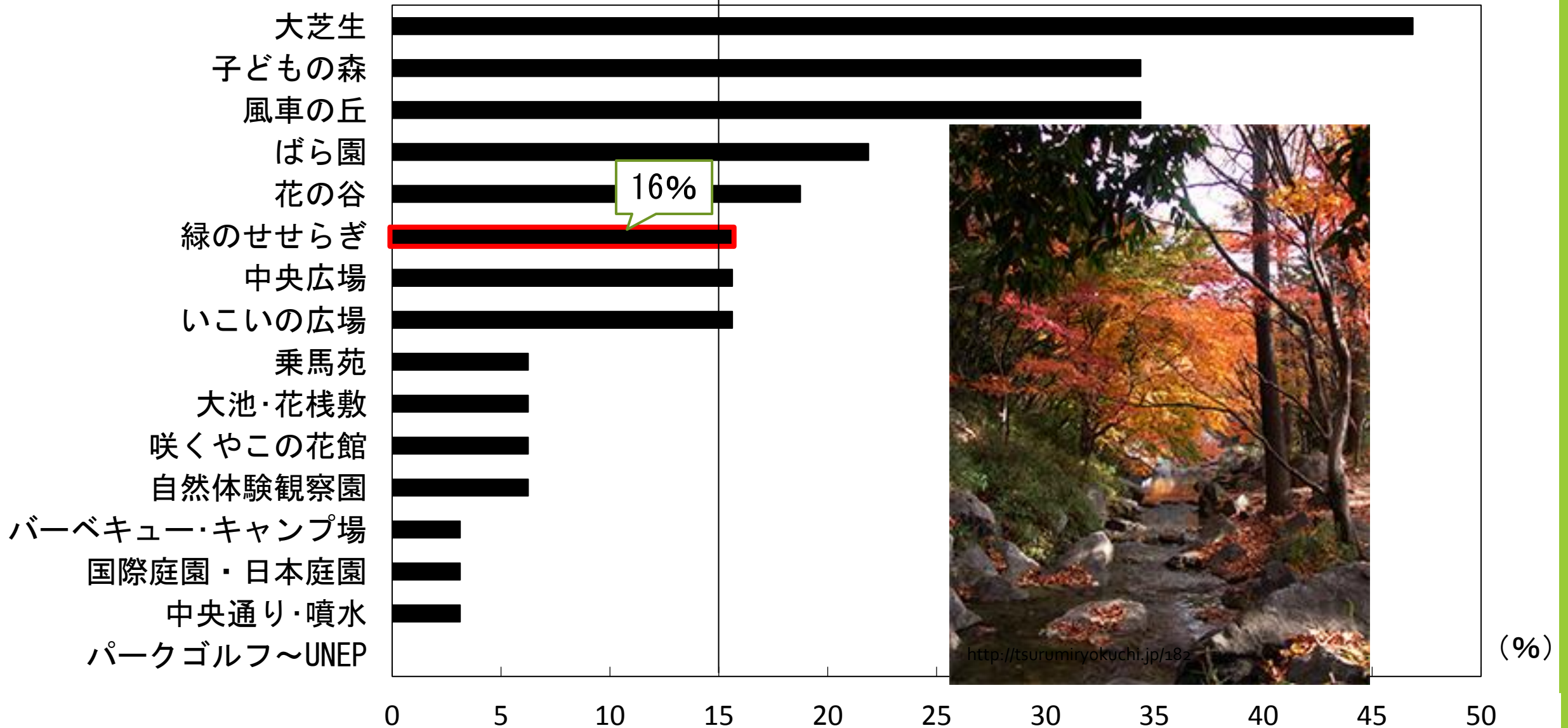
# 緑地全体の利用特性

〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



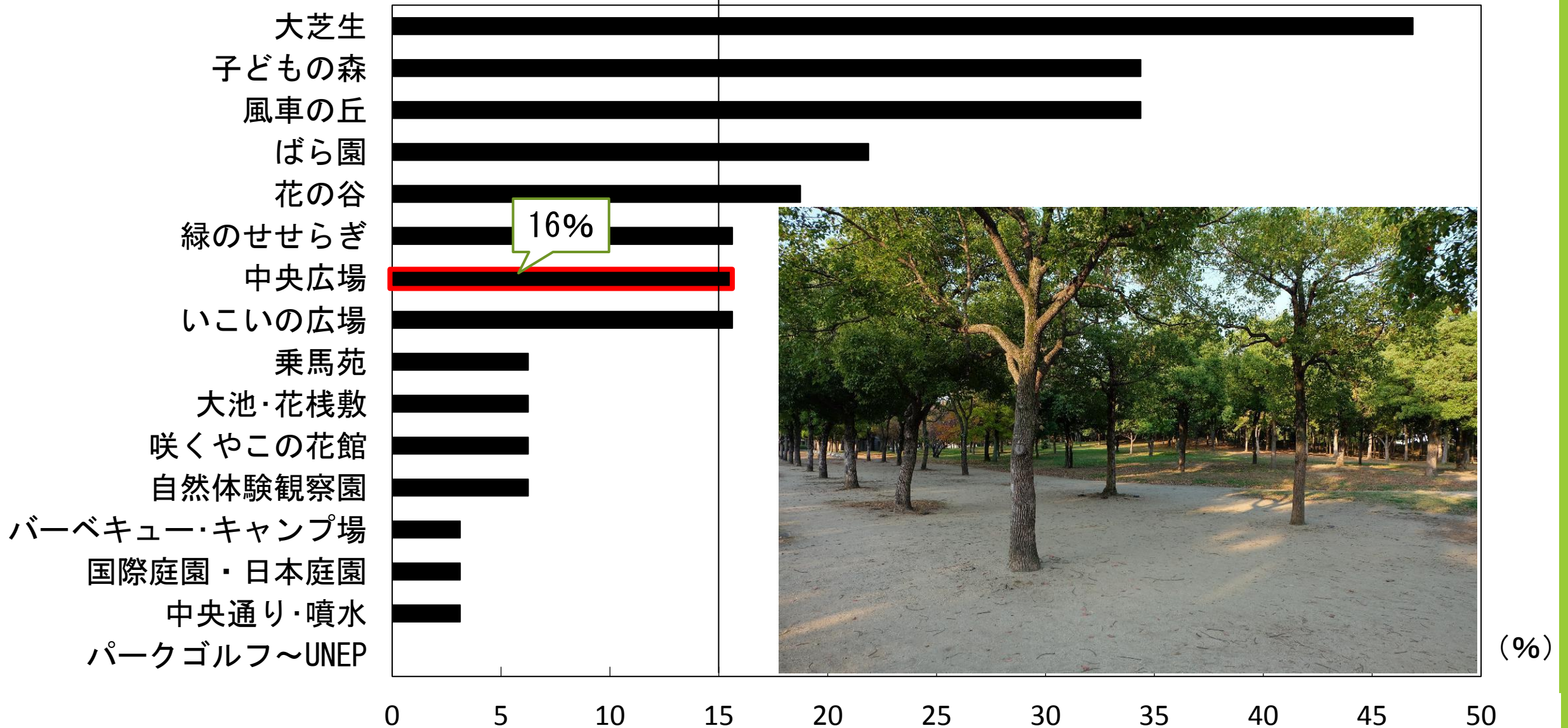
# 緑地全体の利用特性

## 〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



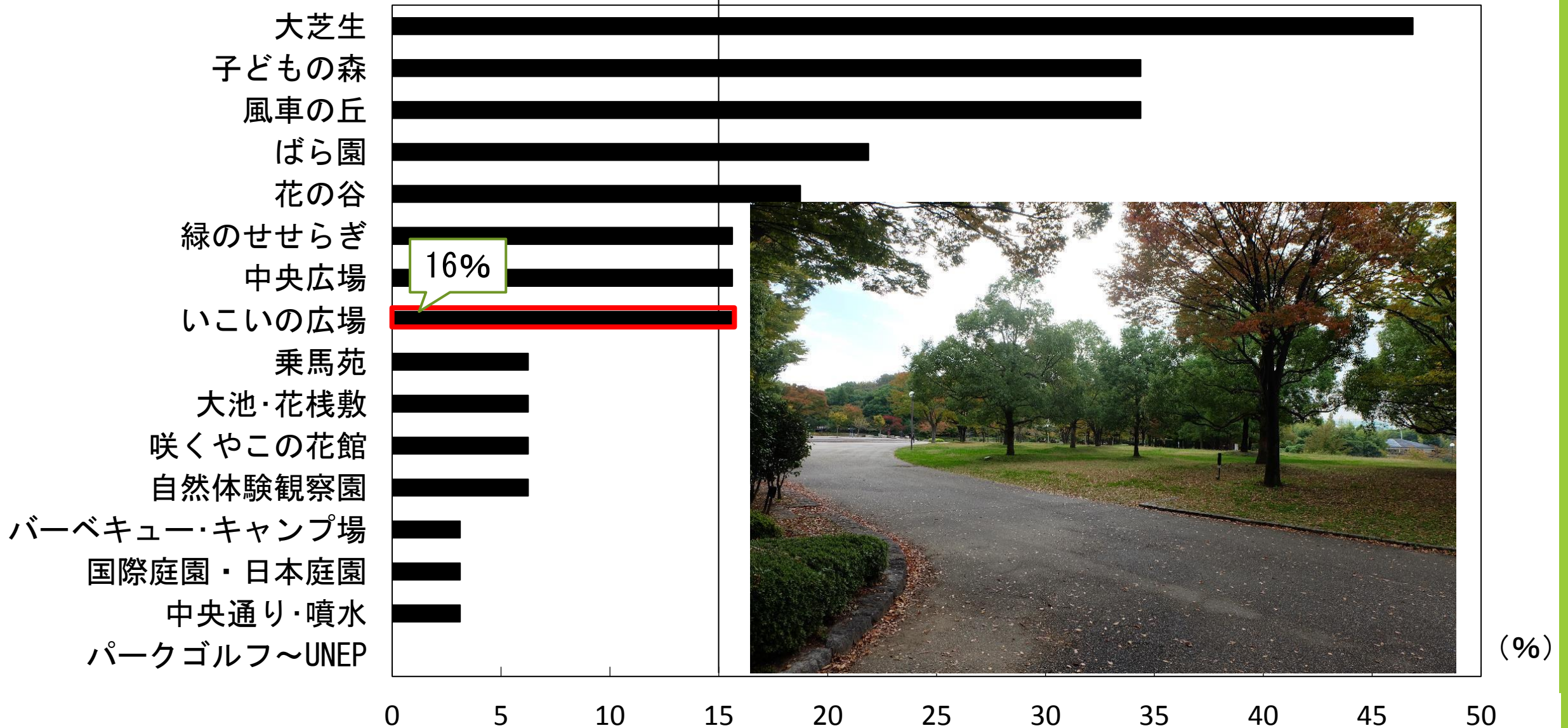
# 緑地全体の利用特性

## 〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



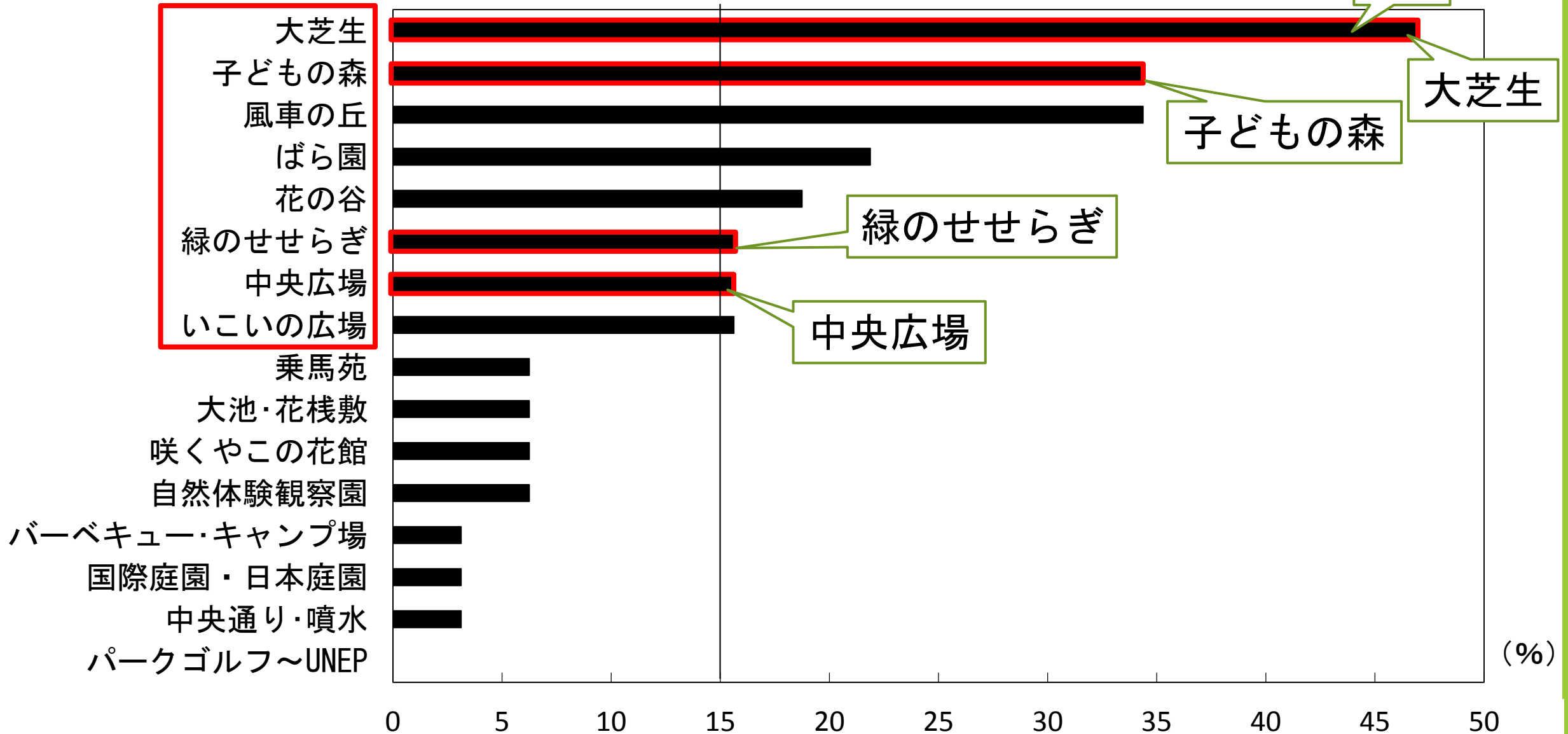
# 緑地全体の利用特性

## 〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



# 緑地全体の利用特性

〈自然とのふれあい活動の利用ゾーン〉



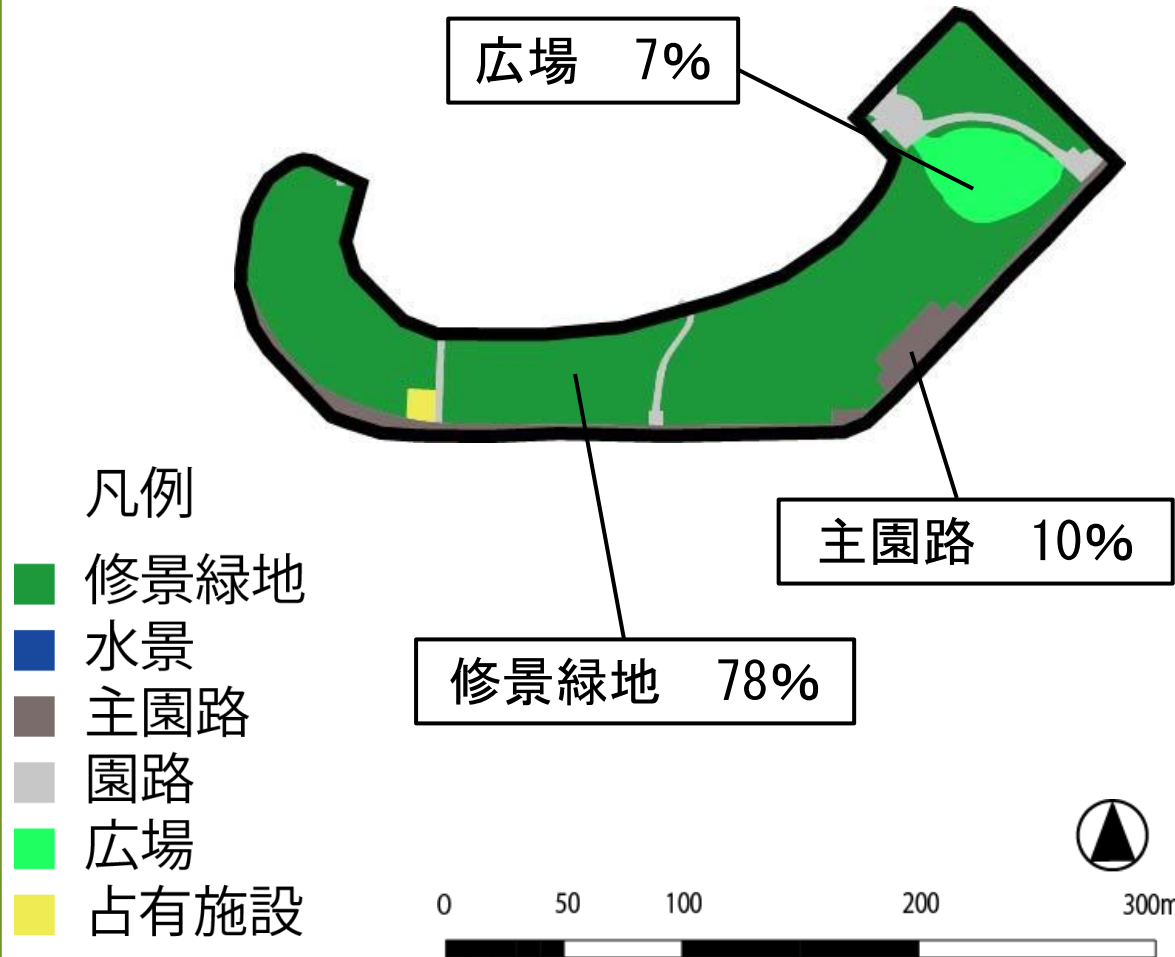
# 各ゾーンの利用特性～中央広場～

利用人数：344.6人

利用時間：1時間未満

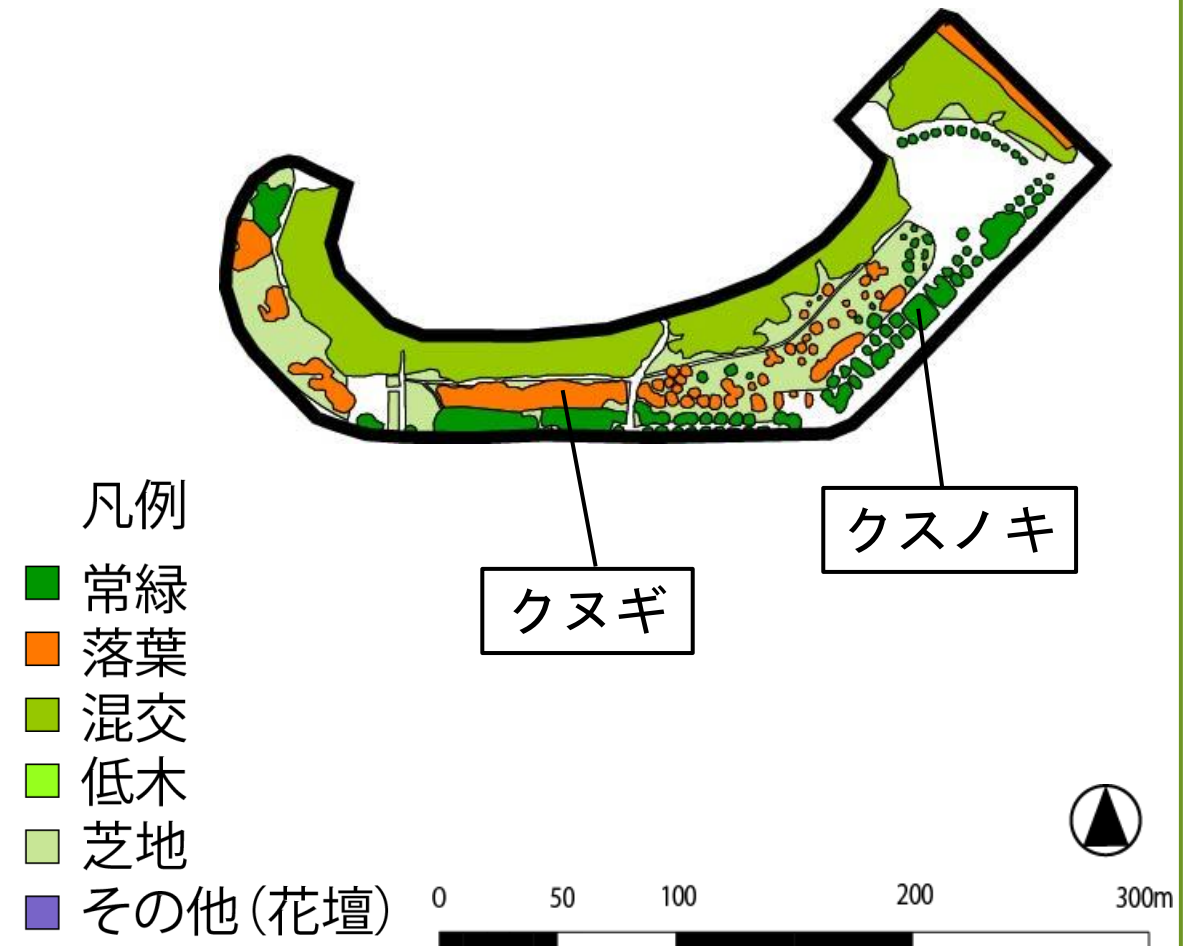
## 土地利用

面積 2.5ha



## 緑被状況

緑被率 66%

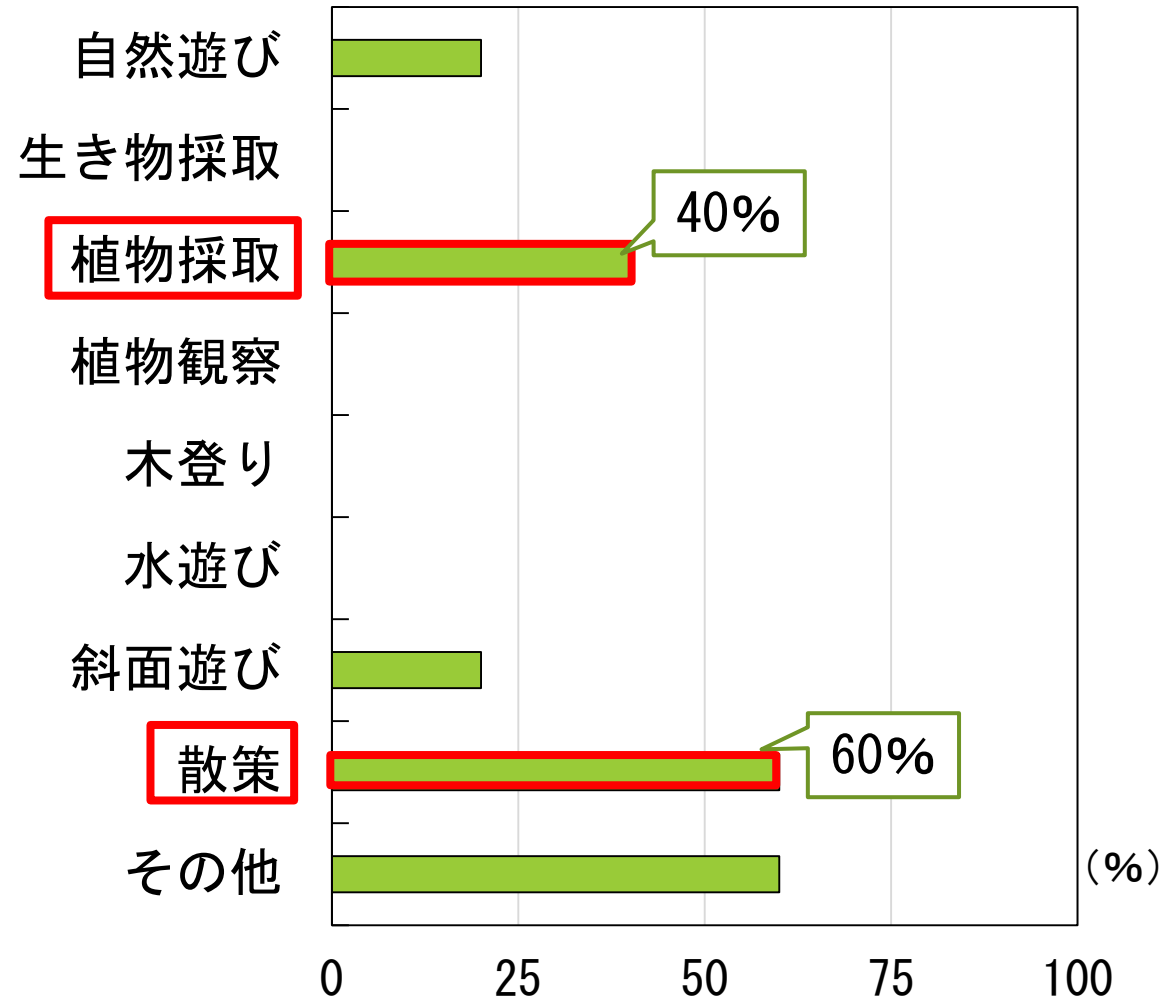


# 各ゾーンの利用特性～中央広場～

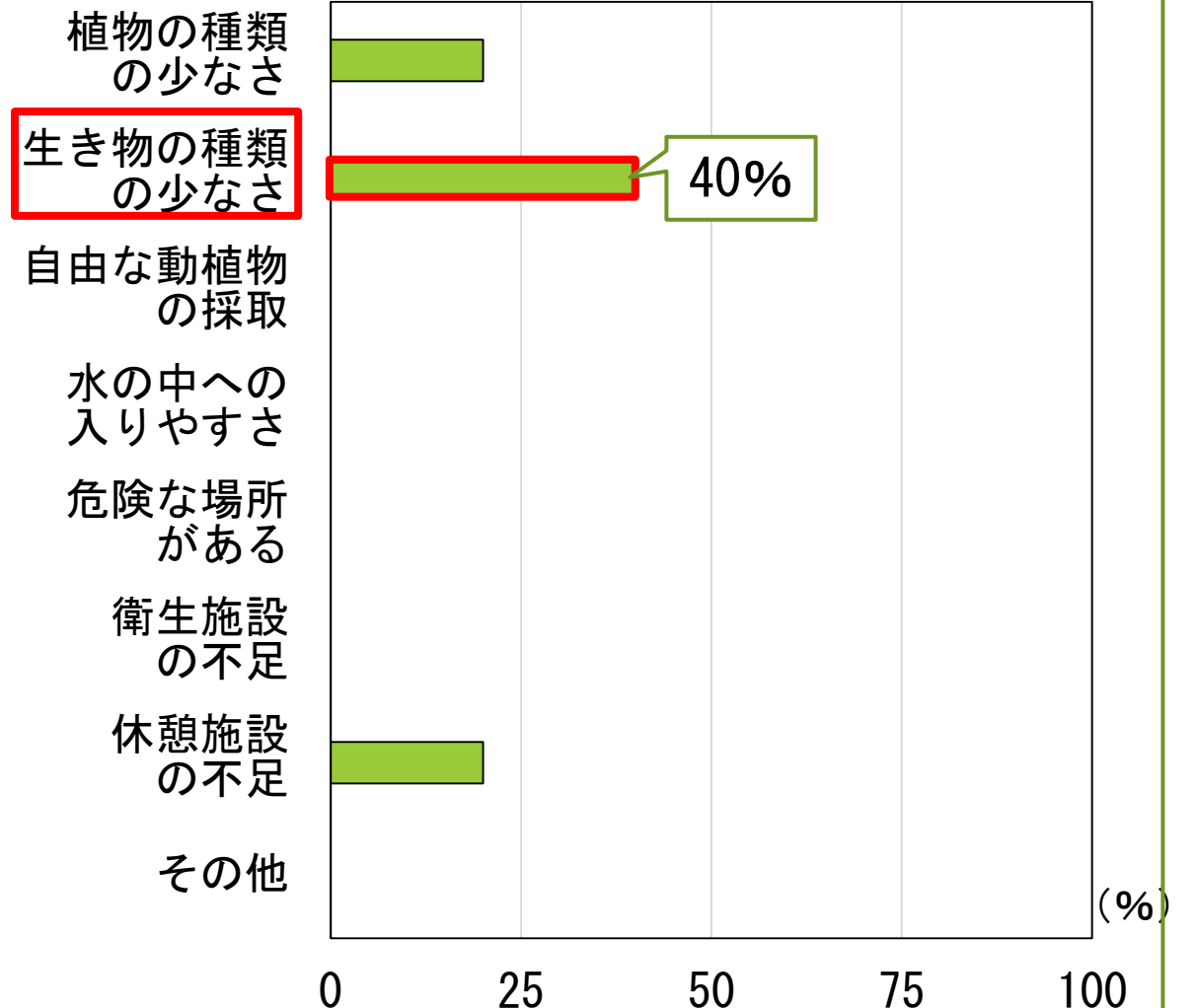
利用人数：344.6人

利用時間：1時間未満

## 〈利用内容〉



## 〈課題〉



# 各ゾーンの利用特性～大芝生～

利用人数：231.3人

利用時間：1時間以上

## 土地利用

面積 5.7ha

修景緑地 16%

広場 76%

凡例

- 修景緑地
- 水景
- 主園路
- 園路
- 広場
- 占有施設



## 緑被状況

緑被率 87%

クスノキ

ケヤキ

芝地 75%

凡例

- 常緑
- 落葉
- 混交
- 低木
- 芝地
- その他(花壇)

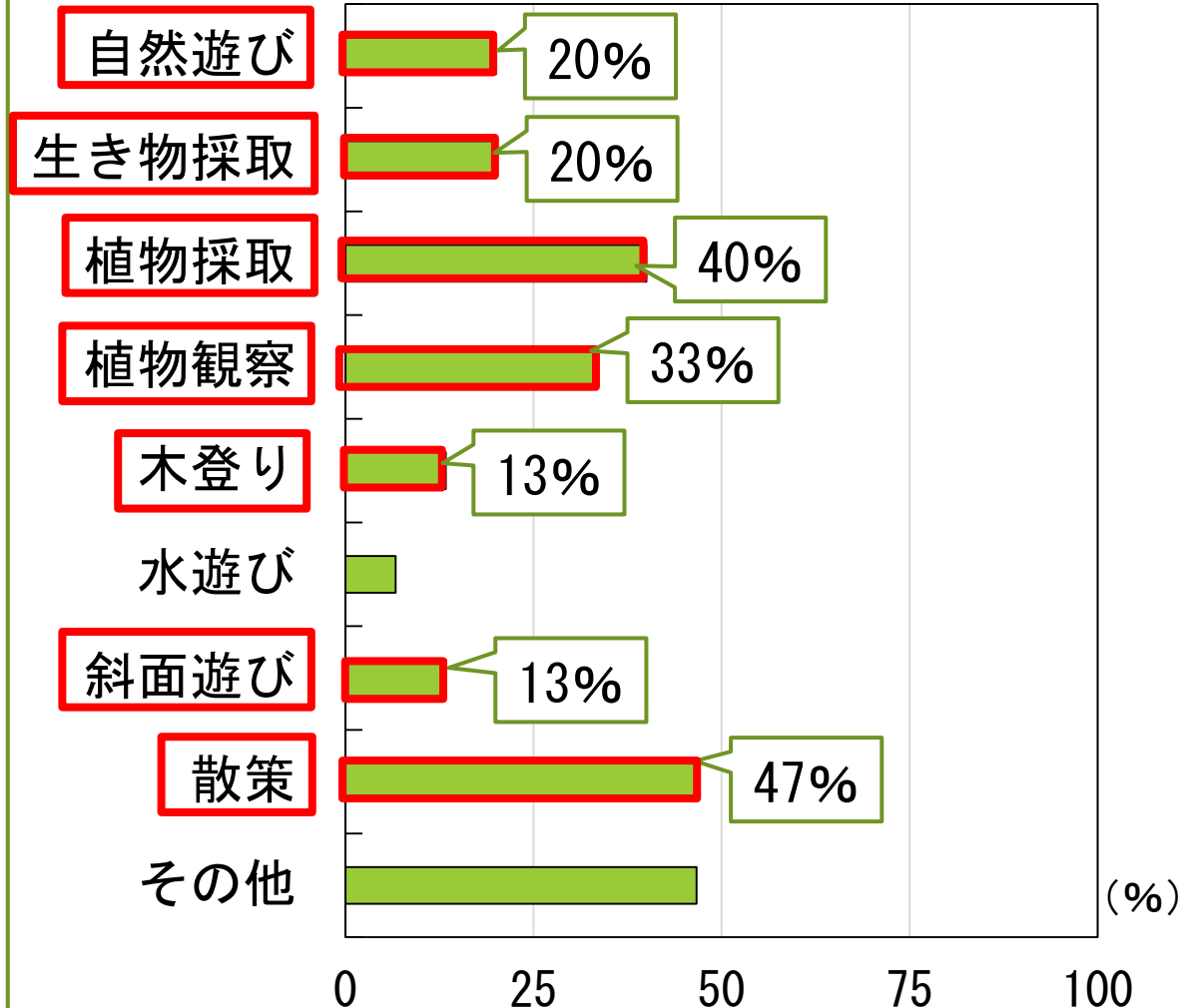


# 各ゾーンの利用特性～大芝生～

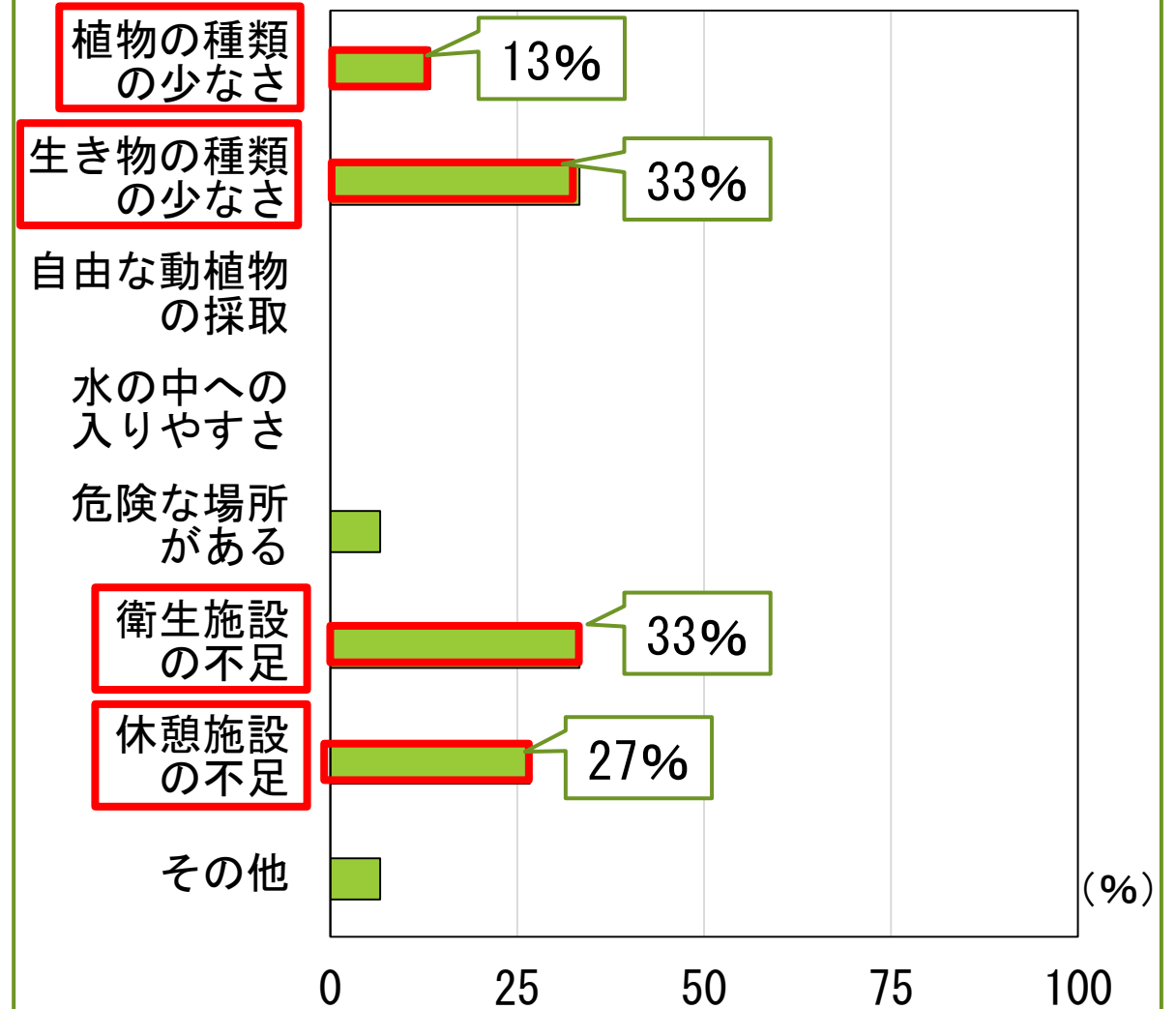
利用人数：231.3人

利用時間：1時間以上

## 〈利用内容〉



## 〈課題〉



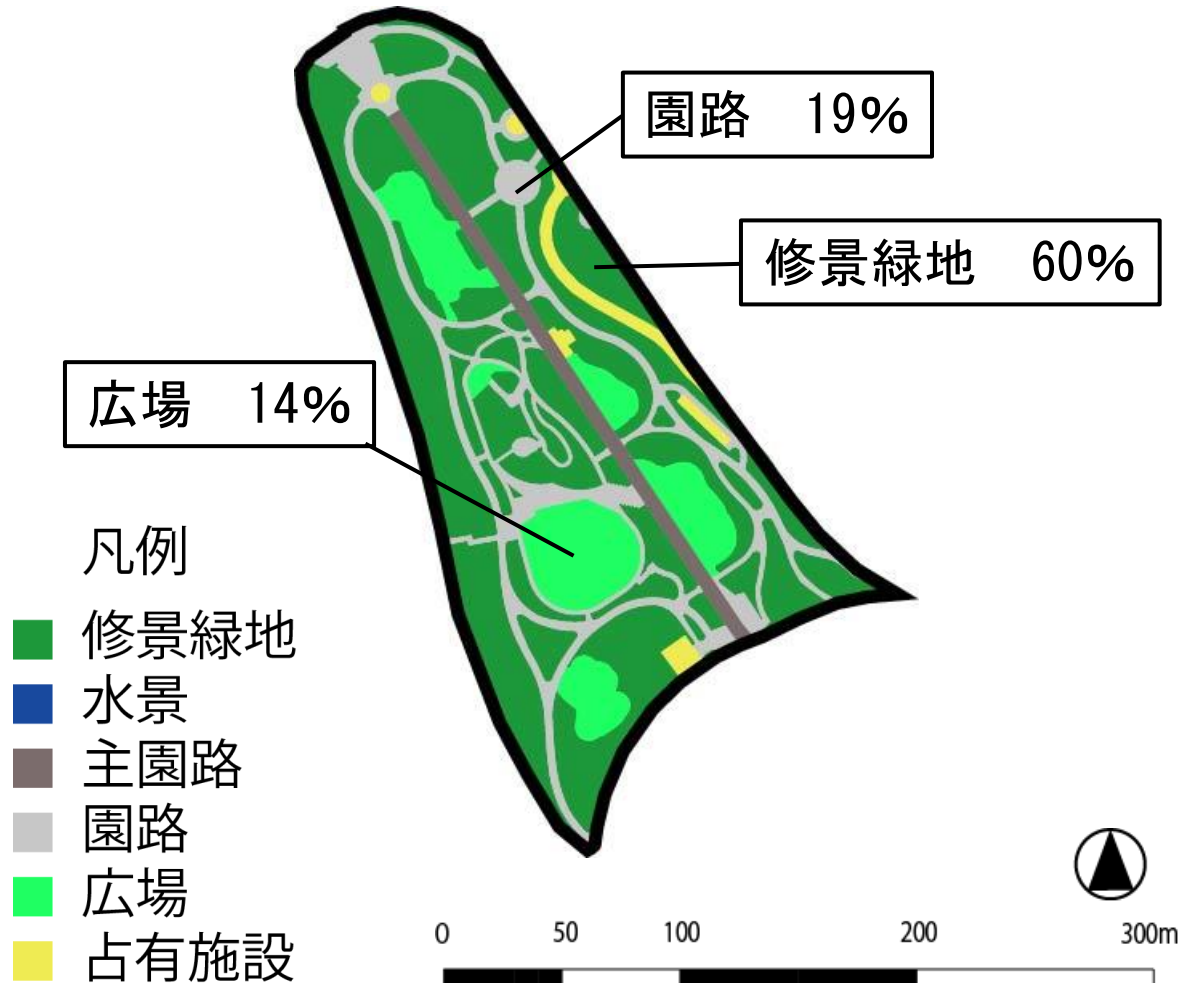
# 各ゾーンの利用特性～子どもの森～

利用人数：138.4人

利用時間：1時間以上

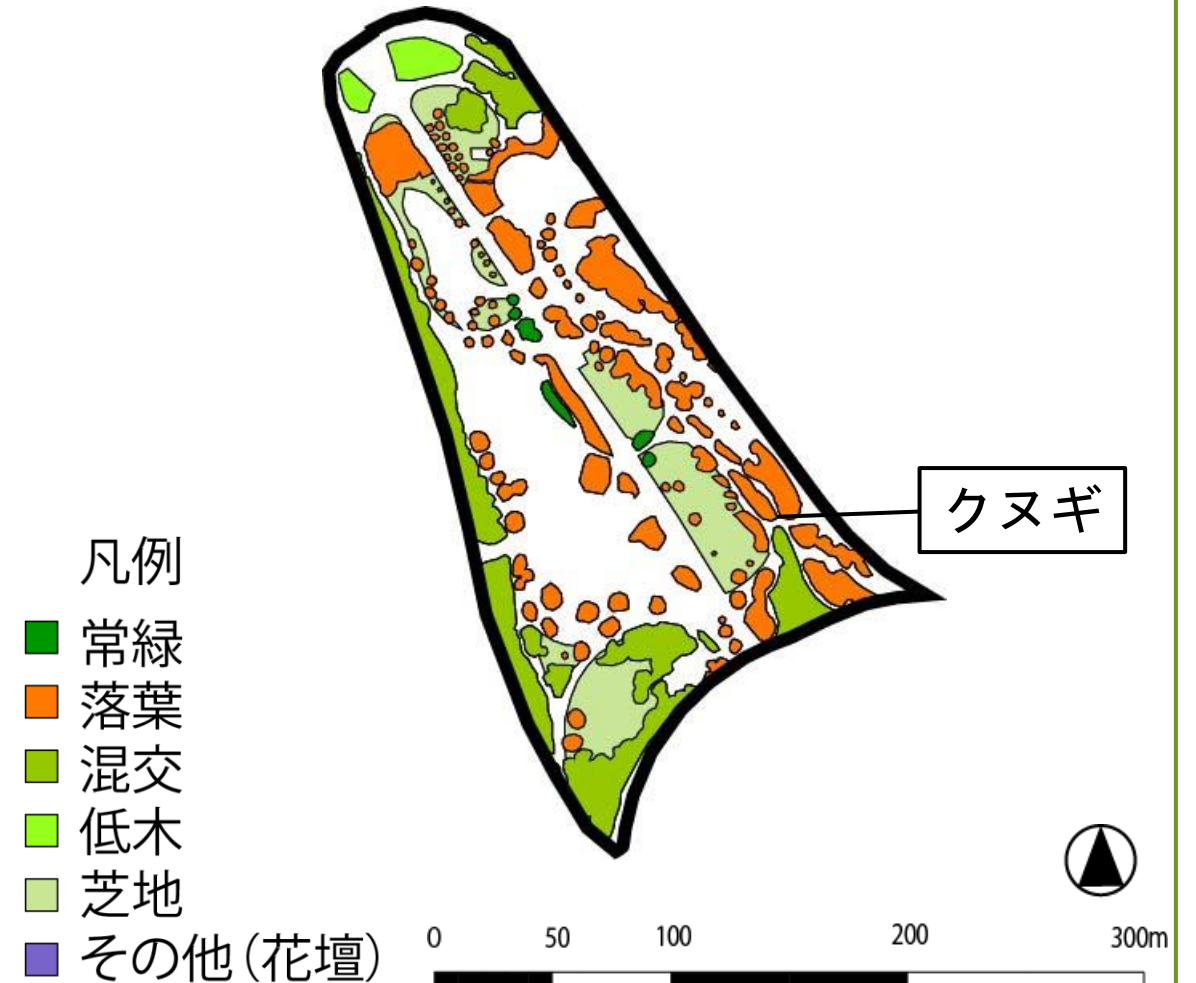
## 土地利用

面積 3.6ha



## 緑被状況

緑被率 42%

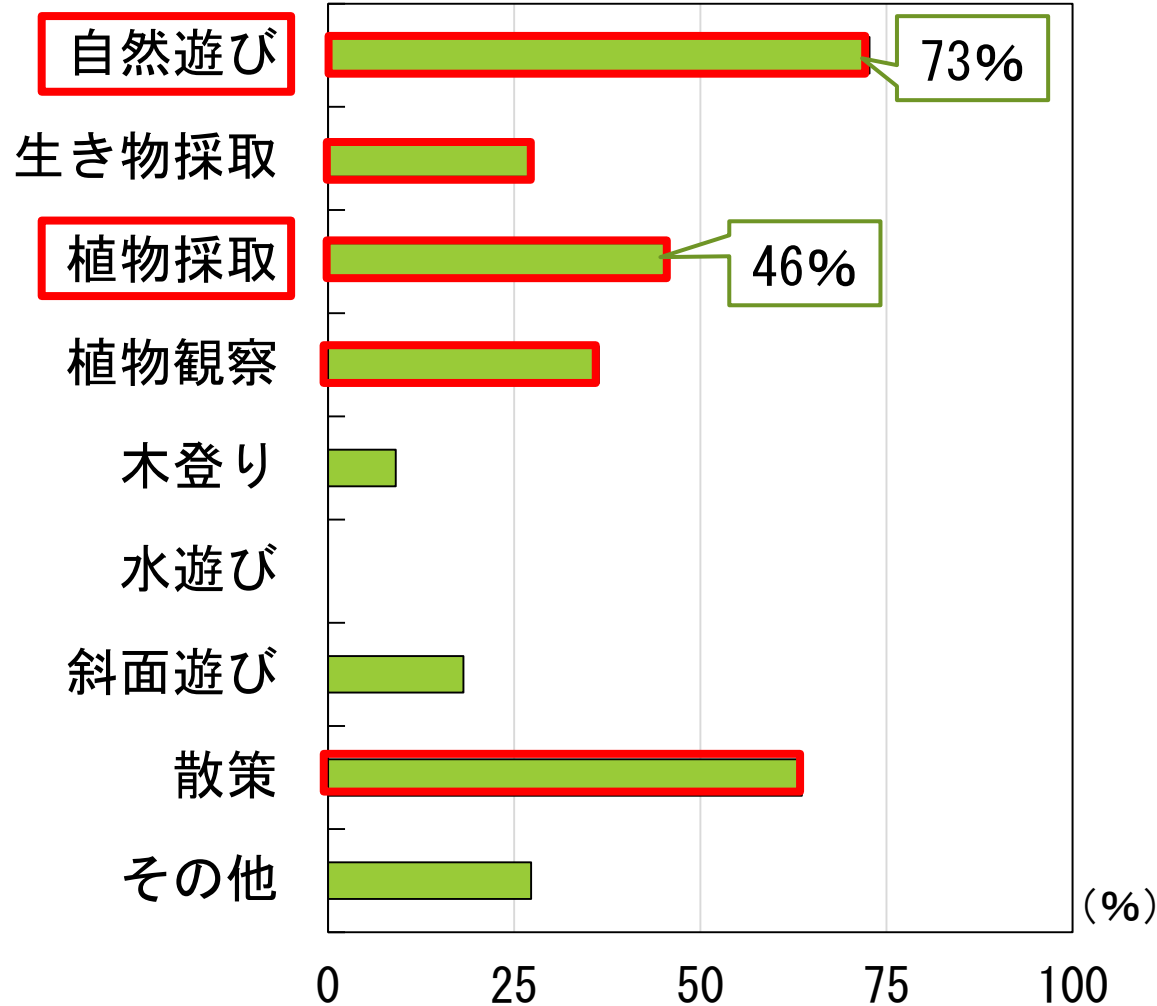


# 各ゾーンの利用特性～子どもの森～

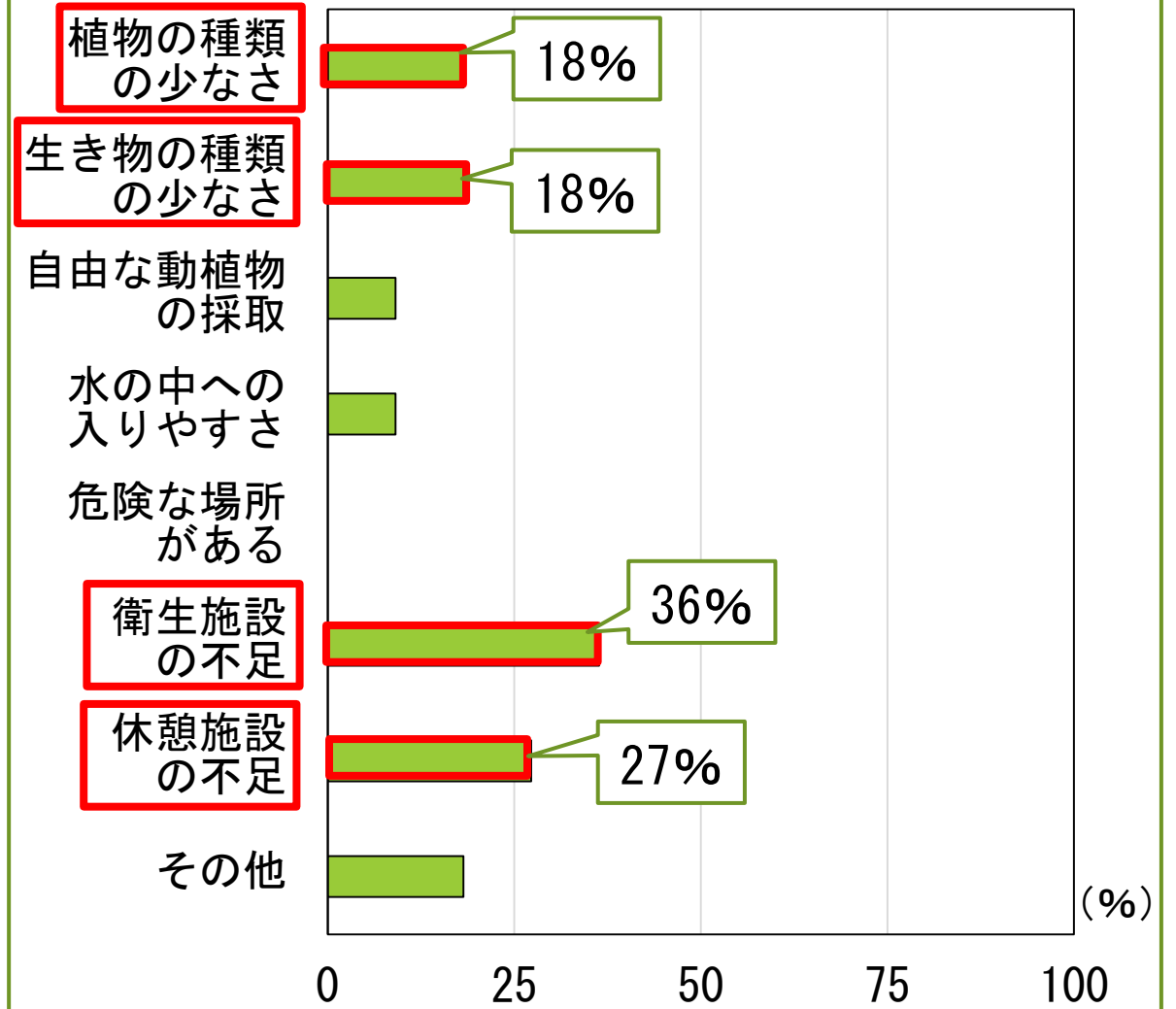
利用人数：138.4人

利用時間：1時間以上

## 〈利用内容〉



## 〈課題〉



# 各ゾーンの利用特性～緑のせせらぎ～

利用人数：142.0人

利用時間：1時間以上

## 土地利用

面積 9.4ha

園路 8%

水景 4%

広場 22%

修景緑地 62%

凡例

- 修景緑地
- 水景
- 主園路
- 園路
- 広場
- 占有施設



## 緑被状況

緑被率 68%

アカマツ、  
クスノキ

カエデ、カツラ

クヌギ、コナラ

凡例

- 常緑
- 落葉
- 混交
- 低木
- 芝地
- その他(花壇)

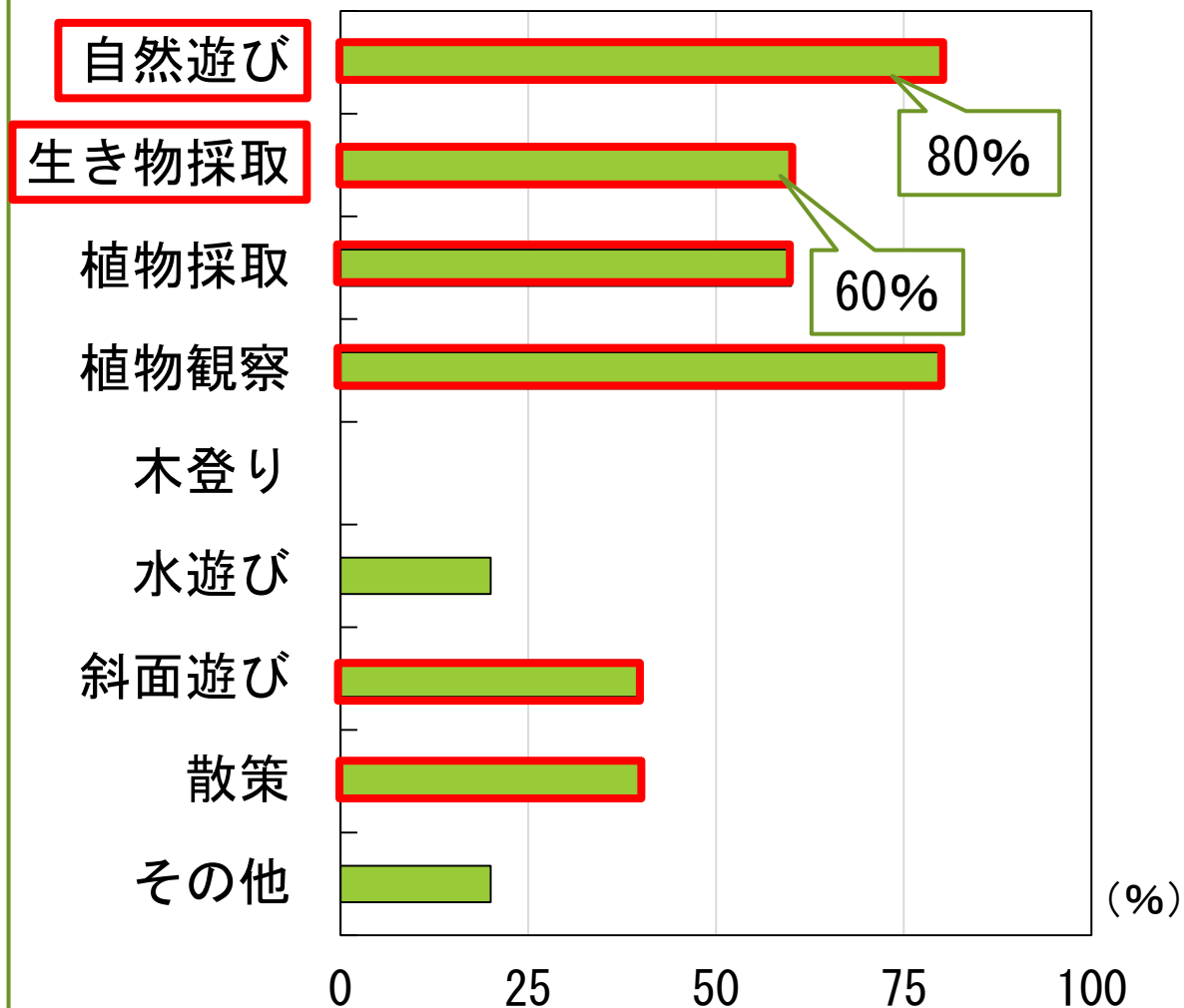


# 各ゾーンの利用特性～緑のせせらぎ～

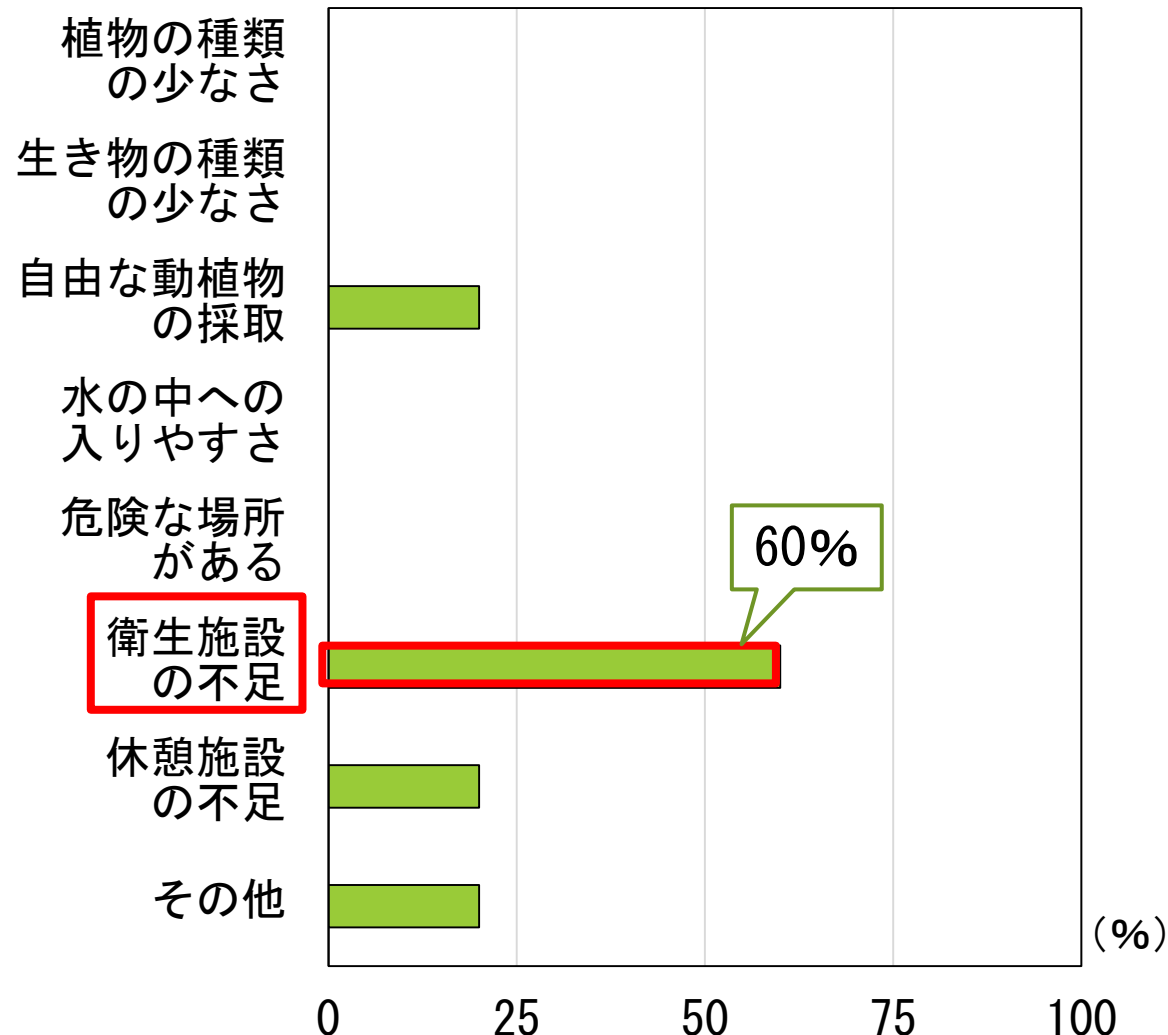
利用人数：142.0人

利用時間：1時間以上

## 〈利用内容〉



## 〈課題〉



# まとめ

大芝生に見られるような大人数の長時間利用  
に対応



開放的な起伏のある芝生広場に加え、手洗い場やトイレ等の衛生施設や日陰となる休憩施設といった屋外施設整備が求められる



<http://tsurumiryokuchi.jp/179>



# まとめ

大芝生のようなゾーンでは、植物や生き物の種類の少なさが指摘される



緑のせせらぎゾーンに見られるように樹種を多様化させ、流れを導入し、植物観察や採取に加えて生き物の採取といった多様な自然とのふれあい活動が可能となるように、各ゾーンのエコ・アップが求められる

